（様式 17）

研究番号	第　19－50

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

［研究課題名］分水嶺梗塞による内頚動脈閉塞脳梗塞患者の予後予測

［研究機関名］聖隷三方原病院

［研究機関の長］　荻野和功

［研究責任者］天野裕貴（脳神経外科・医師）

［研究の概要］

■　目的・方法

研究期間：実施承認後～2020年3月31日

目的・方法：診療録を用いた後ろ向き観察研究。内頚動脈閉塞に伴う脳梗塞の多くは重篤となるが、軽症例で経過することもある。現在までに内頚動脈閉塞患者の予後予測法は確立していない。灌流障害、塞栓性機序どちらの影響も反映すると言われる分水嶺梗塞に注目し、当院に来院された内頚動脈閉塞に伴う脳梗塞患者を後方視的に検討する。

■　対象となる患者さん

2006年6月～2019年7月に来院された症候性内頚動脈閉塞に伴う脳梗塞患者

■　研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、既往、内服歴、臨床症状、MRI所見等

［問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先］

社会福祉法人　聖隷福祉事業団　総合病院　聖隷三方原病院

天野裕貴　脳神経外科

電話 053-436-1251　 FAX 053-438-2971